

障害者福祉に関するアンケート報告書（速報版）から見る現況課題（案）

《当事者向けアンケート》

項目	現況	主な課題
◆日常生活での介助について	<ul style="list-style-type: none"> ・介助状況（「お金の管理」39.5% 「外出」39.3%） ・介助者不在（「頼める人がいない」1.2%） ・介護者の高齢化（「60歳以上」50.7% 「70歳以上」25%） ・介護者の健康状態（「よくない」16.2%） 	○本人・家族への支援の充実
◆住まいや暮らしについて	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活に必要な支援（「必要な福祉サービスが適切に利用できること」58.8% 「生活に必要なお金が軽減されること」56.9% 「緊急時に助けてくれる人がいること」48.9% 「相談できる場所や人等が充実していること」43.8% 「地域の人達に障害や病気に対する理解があること」40.3%） ・将来への不安（「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安がある」29.6% 「家族など介護者の健康状態に不安がある」20.0%） 	<ul style="list-style-type: none"> ○相談支援体制の充実 ○情報受発信の強化 ○障害と障害のある人への理解促進 ○住まいの場の充実 ○本人・家族への支援の充実
◆日中活動や就労について	<ul style="list-style-type: none"> ・外出支援の必要性（「めったに・まったく外出しない」16.6% 「外出時に困ることや、外出を取りやめたりすることがある」45.9%） ・外出の阻害要因（「道路（歩道）や駅に階段や段差が多い」26.3% 「バスや電車などの公共交通機関が少ない、またはな 	<ul style="list-style-type: none"> ○本人の社会参加の促進 ○まちのバリアフリー化 ○公共交通機関の利便性の向上 ○本人・家族への支援の充実

	<p>い」 24.7% 「困った時にどうすればいいのか心配である」 29.2% 「発作など突然の体調不良が心配である」 25.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援に必要なこと（「職場の上司や同僚に障害の理解があること」 49.2% 「短時間勤務や勤務日数、時間差出勤等の配慮」 34.0% 「仕事についての職場外での相談対応、支援」 25.1%） 	<ul style="list-style-type: none"> ○障害と障害のある人への理解促進 ○就労支援体制の強化
◆相談相手について	<ul style="list-style-type: none"> ・相談相手（「相談しない」 7.7%） ・情報入所方法（「行政機関の広報紙」 31.6% 「インターネット」 20.3% 「行政機関の相談窓口」 10.5%） 	<ul style="list-style-type: none"> ○相談支援体制の充実 ○孤立化を防ぐ取り組みの推進 ○情報受発信の強化
◆権利擁護について	<ul style="list-style-type: none"> ・障害により差別を受けた、または嫌な思いをした経験（「ある・少しある」 35.9%） ・差別を受けたり、嫌な思いをした場所（「学校・職場」 44.9% 「住んでいる地域」 29.4% 「近所」 28.6%） ・市民の障害者に対する理解（「進んでいない」 15.8%） ・成年後見制度の認知度（「内容を知らない」 58.3%） 	<ul style="list-style-type: none"> ○障害と障害のある人への理解促進 ○情報受発信の強化
◆災害時の避難等について	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の支援者の有無（「近所に助けてくれる人がいない・わからない」 68.1%） ・災害時の不安要因（「治療が受けられない、薬がもらえない、医療ケアが受けられない」 45.4% 「安全なところまで、すばやく避難することができない」 42.4% 「避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安」 40.9% 「避難場所の設備（トイレ等）が不安」 39.9%） 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災・災害時対策の充実 ○地域福祉活動の充実

《市民向けアンケート》

項目・現況	主な課題
<p>◆障害のある人との関わる機会（「ほとんど関わる機会がない」 31.3%）</p> <p>◆生活環境の使いやすさの現状（「使いやすいと思わない・あまり思わない」 54.6%）</p> <p>◆偏見や差別のないまち（「思わない・あまり思わない」 38.2%）</p> <p>◆市の障害者福祉の認知度（「知らない・あまりよく知らない」 83.6%）</p> <p>◆障害者福祉の用語の認知度（障害者週間「知らなかった」 65.4% 障害者差別解消法「知らなかった」 67.4%）</p> <p>◆障害と障害のある人の理解促進に必要なこと（「福祉についての教育を充実させる」 27.7% 「障害のある人とない人の交流の機会（イベント等）を増やす」 26.2% 「さまざまな催しなどの情報を市民のみなさんにお知らせする方法を充実させる」 21.8%）</p>	<p>○障害と障害のある人への理解促進</p> <p>○まちのバリアフリー化</p> <p>○情報受発信の強化</p> <p>○教育環境の充実</p> <p>○ふれあい・交流の機会の充実</p>